



食クラスター

「地域フード塾」事業

2022年度



食クラスター【地域フード塾～絶品コース】第10期



「地域フード塾」では実践的な講義のほか、グループ討議や企業視察を行い、自社の絶品づくりを目指した「3か年計画」を作りあげていく

■2022年度の10期生にあたる塾生たち。無事に修了し、副知事や講師陣と記念撮影

■一般社団法人流通問題研究協会元会長で、フード塾顧問の三浦功氏。著書に「地域絶品づくりのマーケティング～地方創生と北海道フード塾」

新たなDX時代に変化・対応できる人材育成を目指して

北海道では、地域における食関連産業力の向上を図るため、産学官金のオール北海道体制で「食」の高付加価値化を目指す食クラスター活動を展開中。その活動の一環として、「食クラスター『地域フード塾』」を実施しています。北海道内で食品づくりに携わる者を対象に、食分野における道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの磨き上げを目的として、今期で10年目となります。

「地域フード塾」は、デジタル技術を活用したマーケティング手法

や経営力アップにつながる研修を通して、食分野におけるウィズコロナ・ポストコロナの消費ニーズを的確に読み取り、EC等の成長市場に向けた高付加価値商品の開発や販売を実践的に展開し、北海道の食関連産業を牽引する「キーパーソン」となる人材を育成することにより、北海道の食クラスター活動を推進します。

主催：北海道 共催：株式会社北洋銀行、大和証券株式会社、帯広信用金庫



食クラスター【地域フード塾～事業化コース】第4期



「事業化コース」は、より実践的な手法の習得を目指し、勉強会の枠を超えた参加型カリキュラムを中心に構成している

■事業化コースの4期生として、修了を果たした塾生たち

■全体プロデューサー兼講師の前田直樹氏。中小企業診断士として数多くの経験から個別指導にあたる

環境の変化に対応できる経営力を磨く

「地域フード塾」修了生を対象に「塾後の塾」となる事業化コースを開催。事業計画の立案を通して、「食品づくり」における経営力をアップすることで、感染症拡大などの危機における環境変化に対応し、事業の展開や多角化に積極的に取り組み、高付加価値市場へ

の販路拡大を目指す人材を育成することが目的。より実践的になるよう、自社の財務状況を徹底的に分析するなど、塾生ごとに個別性を高めた内容となっています。

主催：北海道 共催：株式会社北洋銀行、大和証券株式会社、帯広信用金庫

2022年度 開催概要

■地域フード塾～絶品コース研修(全10日間)

第1回 札幌市	令和4年 8月24日～25日
第2回 札幌市	令和4年 9月13日～14日
第3回 札幌市・帯広市 旭川市・函館市	令和4年10月 3日～ 4日 令和4年10月 6日～ 7日
第4回 札幌市	令和4年10月27日～28日
第5回 札幌市	令和4年11月28日～29日

■成果発表会・修了式

札幌市 令和5年 1月24日

2022年度 講師陣(敬称略/50音順)

青島 弘幸 (創発コンサルティング 代表/中小企業診断士)
大谷 武史 (国分北海道(株) 元マーケティング部長)
小野 司 (一般社団法人日本シードルマスター協会 代表理事/中小企業診断士)
桐生 宇優 (北雄ラッキー(株) 代表取締役社長)
佐竹 嘉廣 (合同会社廣龍 代表/一般社団法人流通問題研究協会 理事)
田村 茂 (office igatta 代表)
白田 典子 ((有)良品工房 代表)
橋本 佳往 (一般社団法人流通問題研究協会 専務理事)
前田 直樹 (前田直樹経営研究所 代表/中小企業診断士)
三浦 功 (フード塾 顧問/一般社団法人流通問題研究協会 元会長)
村澤 規子 (北の旅レシピ 代表/一般社団法人流通問題研究協会 研究員)
吉岡 史世 (一般社団法人北海道貿易物産振興会 店舗・卸統括兼国内卸部長)
「地域フード塾」OB会「E-ZO」会員

2022年度 開催概要

■地域フード塾～事業化コース研修(全7日間)

第1回 札幌市	令和4年 8月22日
第2回 札幌市	令和4年 9月12日
第3回 札幌市	令和4年 9月30日
第4回 札幌市・積丹町	令和4年10月25日～26日
第5回 札幌市	令和4年11月24日～25日

■成果発表会・修了式

札幌市 令和5年 1月24日

2022年度 講師陣(敬称略/50音順)

岩井 宏文
(株)積丹スピリット 代表取締役)
橋本 佳往
(一般社団法人流通問題研究協会 専務理事)
東方 博之
(株)北洋銀行 地域産業支援部 管理役)
前田 直樹
(前田直樹経営研究所 代表/中小企業診断士)



[絶品コース]

第1回・絶品マーケティングの 基本戦略と地域絶品商品開発

札幌 8月24日(水)～25日(木)
北洋銀行 セミナーホール

研修の初回は、地域フード塾の目的や意義を理解し、今後の商品づくりの柱となる「地域絶品ブルー・オーシャン」戦略について学ぶ。



地域絶品マーケティングとは？

研修は塾生の自己紹介からスタート。地域絶品マーケティングの軸となる「ブルー・オーシャン戦略」を学びつつ、それぞれが仲間との討議を通して、参加の目的や自社の課題について、しっかりと見つめ直すカリキュラムを構成。塾生の活発な参加が見られた

第2回・売れる商品づくりとは？ SWOT分析演習にマーケティング財務も

札幌 9月13日(火)～14日(水)
北洋銀行 セミナーホール

専門家による「売れる地域絶品づくり」の具体的なノウハウに切り込む講義のほか、塾生をグループに分けてSWOT分析の演習を実施。



専門家による実践的で多彩な講義

研修2回目は「売れる商品づくりとは？」をテーマにした講義がメイン。商品開発や売り場づくりの専門家から、具体的な実事例が数多く紹介された。また、自社の事業計画を考えるにあたり、SWOT分析の手法やマーケティング財務の重要性を学んだ

第3回・地域資源の活かし方と先輩OBの取組みから学ぶ知恵と工夫

札幌江別

10月3日(月)～4日(火)
大和証券 18階ホール



奮闘や工夫を重ねた体験談は刺激大

地域に根ざして活動するフード塾OBの企業を視察。訪問先は「江別製粉」「Ambitious Farm」「アイビック食品」の3社。各社の取組を直に見学し、先輩から直接リアルな声を聞くことができる貴重な機会となった



支え合う強い絆の構築を目指して

フード塾のOB達は皆、地元講師として準備を整え、成功談も失敗談も惜しみなく披露してくれる。その姿勢には「フード塾の学びを活かして、地元で共に頑張ろう、支え合おう」というメッセージが含まれている

帯広

10月3日(月)～4日(火)
帯広信用金庫 中央支店
セミナールーム



地域ならではの価値を自社独自の価値へ

帯広会場は「山本忠信商店」「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」「Nobu Kitchen Cafe」「上川大雪酒造 碧雲蔵」を視察。地元の素材や歴史文化を、いかに魅力的なものづくりにつなげているか、多くの実事例に触れることができた



少人数制で交流も意見交換も活発に



視察の翌日は、強い意思のもとに入塾した仲間たちとの討議。各自の事業計画案に積極的にアドバイスをし合い、活発な意見交換が行われた。生活者目線の疑問や新鮮な提案が飛び交う場となった

地域との絆を深め、人的ネットワークを構築するのも、この塾の大きな狙い。第3回研修は4地域に分かれてフード塾OB企業を視察。地域の魅力を自社の強みへ。地域資源の活用をいかに実現しているかを学び取った。

旭川

10月6日(木)～7日(金)
旭川北洋ビル 会議室



仲間とのコラボ力を活かした絶品づくり

旭川会場は「ビバ研究所 VIVA食堂」「キョクトー」「上森米穀店」を視察。上森米穀店では、フード塾の仲間達と一緒に新商品や地域イベントを作り上げる面白さを聞くことができた

農業王国からのメッセージ発信

地元の素材や風土を活かしたモノづくりの現場を視察。商品や料理に込めた熱い思いや誇りに触れ、数多くの刺激を得た



北海道だからその自負を美味しさに込めて。豊かな食や自然の魅力を最大限に引き出し、自社商品にどのような付加価値をつけていくのか。それが重要なポイントだと、あらためて考えさせられた



函館

10月6日(木)～7日(金)
旧松橋商店 港の庵



思わず買いたくなる商品とは？

「道の駅みそぎの郷さない」「ヤマキュウ西川水産」「エビスパック」を視察。ワクワクさせる売り場や商品開発の工夫に触れた



自社の目標や行動計画を明確化

道内屈指の人気の道の駅や老舗地元企業の熱い思いを感じ取った後は、地域の文化が色濃く残る歴史的建造物で、冷静に自社の強み弱みを分析。ヒット商品を生み出そうというパワーがみなぎっている



[絶品コース]

第4回・デジタルマーケティングの実務

札幌 10月27日(木)～28日(金)
北洋銀行 セミナーホール

消費者行動や価値観が変化した今、オンラインにシフトした売り方に対応すべく、デジタル技術を活用したマーケティングを学ぶ。



即効性の高い ノウハウを提示

実践版の専門的な講義に加え、OBが「効果的なECの取り組み方」「SNSの活用による顧客開拓と売上倍増」を講演。EC戦略を討議したグループ演習も大いに盛り上がった



第5回・わが社の3か年計画とマーケティング戦略の構築

札幌 11月28日(月)～29日(火)
北洋銀行 セミナーホール

研修の最終回は今までの学びの集大成。自社の「3か年計画」を講師や仲間と共に再整理し、完成を目指して真剣に向き合った。



各自が完成させた「自社の今後3か年の行動計画」を発表。必ず実行するという強い意思のもと、目標を共有しあって研修を終える

[事業化コース]

経営力を磨くため、財務知識と事業計画の立案ポイントを学ぶ

**札幌
積丹** 8月22日(月)、9月12日(月)、
9月30日(金)、10月25日(火)
大和証券 18階ホール
10月26日(水)
積丹スピリット
11月24日(木)、11月25日(金)
大和証券 18階ホール



財務は事業計画づくりの土台

自社の経営を見直し、課題や目標を明確にしていく修了生対象の「塾後の塾」。財務の基礎を身につけ、集団コンサルティング方式で課題の解決法を探る。町を巻き込んだ事業計画の実現事例として、「積丹スピリット」の視察も実施



絶品力は粗利力！

徹底した財務分析と個別指導のもとに、実現性の高いアクションプランを作成していく。数字を厳しく精査した事業計画書を完成させ、金融機関への借入相談を想定したプレゼンテーションを実施



成果発表会と修了式

「今」からが本当のスタート 危機に立ち向かう決意表明

札幌

1月24日(火)

札幌パークホテル

今年度は絶品コース29名、事業化コース8名、計37人の修了生を輩出。ここからが新たなスタートだと各自が力強く決意表明を行い、修了証書を胸に、頼もしくも晴れやかな笑顔を見せた。



修了式のあとは、同日同会場で開催された、食のサポーターや専門家たちによる「食のブランド・ステップアップ相談会」にも参加。早速、計画実現に向けての大きな一歩を踏み出した



地域フード塾修了生が集結 北海道の絶品づくり集団 「E-ZO(イーゾ)」との 連携ネットワークを構築

食クラスター「地域フード塾」事業は、今期で10年目。これまでの修了生は道内全域に延べ262名となった。その修了生有志が集結し、このネットワークを継続させ、より強固にして活動するために2017年に発足した会員組織が「E-ZO(イーゾ)」であり、「地域フード塾」のスムーズな運営も「E-ZO」との力強い連携に支えられている。



「E-ZO」は切磋琢磨して築いた仲間意識や信頼関係を基盤に、物産展や勉強会の開催など独自に活動。研修運営にも深く関わり、視察受入のほか、何人ものOBが講師という立場で参加。身近な存在が活躍する姿は、塾生達に大きな自信を与えてくれる



東京研修 受講生および修了生 を対象として開催

コロナ禍により変容した新たな高付加価値市場への販路拡大を目指し、高級スーパー等を視察。商流・物流に精通した講師から最新トレンドを学ぶ目的で、東京研修を実施した。



9月20日(火)から22日(木)の3日間、17名が参加。期を超えたディスカッションで、知識と事業計画をブラッシュアップした

地域絶品・食のデジタルマーケティング人材育成事業 2022年度 食クラスター「地域フード塾」研修修了者

[絶品コース]

阿部 成史	鹿部町	株式会社シカベンチャー 代表取締役
今井 貴祐	小清水町	オホーツク今井ファーム 代表
岩淵 真里子	砂川市	株式会社たびのそら 代表取締役
大美浪 ちえ	大樹町	株式会社源ファーム 店長
岡山 琴絵	函館市	昆布漁師ジュンヤ・オカヤマ
鎌田 俊輝	札幌市	株式会社マコト屋 取締役
北川 涼子	札幌市	合同会社人考研 社員
北見 伸子	函館市	まるたま小屋 オーナー
小西 一人	函館市	有限会社マルショウ小西鮮魚店 代表取締役社長
齋藤 裕子	三笠市	北海道ソラサンフーズ株式会社 営業部
佐々木 真実子	石狩市	株式会社ショクラク 営業統括
佐藤 拓敦	旭川市	株式会社taku 代表取締役
白戸 宏明	札幌市	丸辰三上商店株式会社 執行役員
高橋 卓也	富良野市	furano bijou(フラノビジュール) オーナーシェフ
田中 彰人	札幌市	エメ・リュンヌ 代表
田中 美汐	留萌市	株式会社丸夕田中青果 本店漬物部 店長
坪谷 葉子	苫小牧市	フードイノベーションジャパン株式会社 取締役
富田 さおり	鹿追町	株式会社菅原牧場 Latte e cucina ワークショップオーナー
成澤 信行	木古内町	株式会社ヤママル 代表取締役
新津 則之	足寄町	有限会社熊の子 専務
橋本 晶子	陸別町	陸別町役場産業振興課 商工観光推進員(地域おこし協力隊)
早坂 麗子	今金町	み土里企画カフェポンポンチセ 代表
福島 嘉菜恵	室蘭市	和風薬膳マルクマ 代表
貳又 南	白老町	BLUE SALMON 副代表
三浦 翔	日高町	MIURAYA 代表
村上 明香	夕張市	とびら 代表
村上 季隆	札幌市	株式会社北海道バイオインダストリー 代表取締役
八木 皆実	新ひだか町	北海道クラフトビネガー株式会社 取締役 プロジェクトマネージャー
六車 明紘	石狩市	株式会社ドースイ 代表取締役社長

[事業化コース]

加藤 由紀	月形町	月形黒毛和牛母牛研究会 代表
杉本 裕子	中札内村	株式会社ベジハート 取締役
滝 正	枝幸町	有限会社瀧源商店 取締役
田所 達朗	洞爺湖町	お肉屋さんたどころ 専務
林本 健志	新得町	十勝Fruits Village 代表
松本 康宏	豊富町	株式会社川島旅館 代表取締役
元澤 洋	夕張市	合同会社小野農園 代表
山口 小百合	江別市	江別製粉株式会社 常務取締役

※以上、五十音順

